

# とうなんしくつ 当難勿屈

山形市立高楯中学校  
学校だより  
令和7年8月26日発行

## 2学期がスタート！

### 令和7年度2学期始業式 校長式辞より（抜粋）

今日から2学期がスタートします。どんな夏休みでしたか。

夏休み中、剣道競技・斎藤夏妃さん、陸上競技・明日菜々美さん、水泳競技・石山岬さん、本校から東北大会に出場した3名の選手の、不撓不屈の精神で力の限り頑張る姿を見せていただきました。これからも全校で、全校生を応援していきましょう。

3年生は、三者面談や高校のオープンスクールを足がかりとして、進路実現に向けて歩みを進めたことと思います。公立高校の入試制度も変わる年です。2学期は、進路実現に向けて、一步ずつ確実に歩みを進めてほしいと思います。

さて、2学期は1年間で一番長く、行事がたくさんあります。合唱祭・運動会の実行委員の皆さん、夏休み前からの活動・準備、ありがとうございます。合唱際にはスローガン「誇声～ありのままの想い 旋律にのせて～」のもと、みんなの手で素晴らしい行事を作り上げてほしいと思います。

部活動に励む2・1年生の皆さんの姿に、9月の市中新人大会への期待が膨らみます。10月には運動会など大きな行事が目白押しです。目標・スローガンの達成をめざし、力を合わせ活動していきましょう。

2学期後半には、3年生から2・1年生に「たすき」をつなぐ、皆さんの活躍に期待しています。

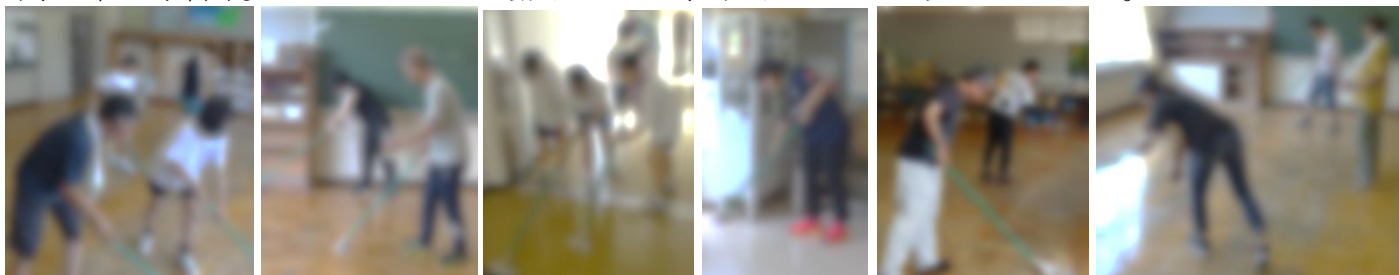
校長室前に「和を貴ぶ」を掲げています。「しっかりと話し合いを行うこと」という意味があります。話し合いをして意見を1つにまとめることは、大変なことです。まず、自分の考えをまとめ、アウトプットすることを大切にしましょう。出される意見は一人ひとり違うものです。お互いの考えを認め合い、尊重しあいながら、みんなで目指すものを見定め、しっかりと歩みを進め、より良いものを目指してほしいと思います。

## 祝 躍動！ 高中生！ 東北大会で大健闘

斎藤 夏妃さん	東北中学校剣道大会	女子団体 ベスト8
明日菜々美さん	東北中学校陸上競技大会	女子共通 800m タイムレース決勝 第16位
石山 岬さん	東北中学校水泳競技大会	女子 200m 平泳ぎ 第5位 女子 100m 平泳ぎ 第5位

## ワックスがけ、ありがとうございました！

7月26日（土）に、PTA保体環境部の活動として教室のワックスがけをしていただきました。暑い中、生徒の学習環境を整えるためにご協力いただき、本当にありがとうございました。



### これからの主な予定

8月28日(木)～ 教育実習	30日(土) 資源回収	9月1日(月) 振替休日(8月30日分)
2日(火)いのち輝く安全の日	5日(金)技能教科通知表配付	12日(金)合唱祭(於:山形テルサ)
17日(水) 市中新人壮行式	27日(土)・28日(日) 市中新人大会	29日(月)・30日(火) 学校休業日

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

今年度の全国学力・学習状況調査は、「教科に関する調査（国語・数学・理科）」「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査（学習意欲・学習方法・学習環境等）」を4月17日（木）に実施しました。本校の結果について、その概要をお知らせします。

## 1. 各教科に関する調査における正答率の比較

国語・数学・理科ともに県平均をやや下回る結果となっています。以下は山形県との比較。

- ◇国語では、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる」、「事象や行為を表す語彙について理解している」、「書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができる」がよくできており、「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての「知識・技能」の力がついています。一方で、「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる」の項目が県平均を下回り、「話すこと・聞くこと」の領域で「資料を工夫して示しながら話す」ことが課題であるととらえました。
- ◇数学では、「素数の意味を理解している」、「事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる」の「数と式」の領域がよくできていました。一方で、「必ず起こる事柄の確率について理解している」、「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる」の項目が低く、「データの活用」や「関数」の領域で県平均を下回る結果となりました。「関数」分野から補充を行っていかうと考えています。
- ◇国語・数学を通じて「問題の形式」の点から見ると「選択式」では力が発揮できるのに、「短答式」、「記述式」では十分にその力が発揮されていない状況があるようです。
- ◇理科では、「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できる」、「仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができる」、「気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いている」がよくできており、「粒子」・「エネルギー」・「地球」のそれぞれを柱とする領域で学習の成果が出ていました。一方で、「分解に関する身近な事象について、それまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いている」の項目に関わる「2つの領域を関連付けた出題」に対しては県平均を下回る結果となりました。

## 2. 質問紙調査について

- (1) 望ましい回答の「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」の割合が90%を超えている項目
  - ・朝食を毎日食べている。
  - ・毎日同じくらいの時刻に起きている。
  - ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
  - ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
  - ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
  - ・自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）することができると思う。
  - ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
  - ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
- (2) 望ましい回答の合計が比較的低い項目（40%以下）
  - ・新聞を読んでいる。
  - ・数学の勉強が得意だ。
  - ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。

今後、全体の結果をさらに分析し、学習指導や生活指導などの改善に努めてまいります。